

令和7年度おかやまフォーベルネット第3回研修会を開催しました

令和8年1月27日（火）にJA晴れの国岡山 旬感広場にて、飼料学研修・県外研修報告会を開催しました。

○飼料学研修

酪大で自給飼料学の講義を行っている徳島県立農林水産総合技術支援センター 福井統括研究員を講師に招き、牛の消化の仕組みやエサについて説明いただきました。

ポイントは以下の3つのことでした。



①エネルギー源としてのエサ

…日量30kgの搾乳牛には、乾乳牛の3倍以上のカロリーが必要。乾乳牛に余った濃いエサを与えると太る。搾乳牛にはいかに食べさせるか

②乳牛は食べる機械

…人間のように生理的満腹感は感じない。カウコンフォートや疾病対策など牛が食べる時間を奪わない飼い方と育成からの腹づくりが重要

③牛飼いは虫飼い

…ルーメン内の微生物が活動しやすい環境を整える

○県外研修報告会

県外研修に参加された会員の皆さんから、県外研修会の内容を報告いただきました。

①全国モーモー母ちゃんの集い（鹿児島県）



・基調講演では、和子牛の哺育育成について獣医師の視点から重要なポイントが解説され、多くの参考になる知見を得ることができました。また、一分間スピーチでは参加者それぞれが思い思いに語り、発言の機会があることで、会に主体的に参加している実感が高まる感じました。

・自分と同じ雇われの牛飼い女性に話を聞きたくて参加しました。体調やトイレ、人間関係など共通の悩みを共有でき、牧場ごとの工夫や雇われの良さ・難しさも知ることができました。

②中国ブロック合同畜産女性交流会（広島県）

・講演の中で特に印象に残ったのは、「女性の強みは共感力」という話。午後からの意見交換会でも、日々の悩みを話したり、他の経営の前向きな話を聞いたりすることで、また頑張ろうと思えました。